

お城たごより

2008年1月 No.16

編集・発行／鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会

住所／〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-12-15

読売福岡ビル7階

TEL 092-716-8238 FAX 092-716-8254

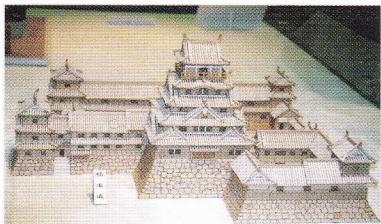
HPアドレス：<http://fukuokajokorokan.npo.jp/>

E-mail : fukuokajo@tos.bbiq.jp

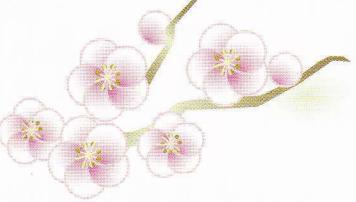
デザイン・印刷／(有)セブンプリンティング



観桜の宴



黒田二十四騎展



観月の宴



どんたく

昨年は福岡城築城四百年にもあたり、福岡城が多くの場で注目され、「シンボル天守閣を再現しよう」という機運が嘗てなく盛り上がりました。

福岡城は城郭の石垣遺構がほぼ完璧に残存し、現在はほとんどない城郭建築物が再現できれば、名城の風格を取り戻すことのできる、全国でも珍しい史跡です。また城郭を取り巻く広大な周辺部も緑に囲まれ、その一角、鴻臚館跡も発掘調査が進み、往時の姿が明らかになりました。

「平成天守閣」の実現は、「城のある都市」復活の象徴であり、若者にも歴史・文化を学ぶ場が提供でき、また海外にも誇れる観光の目玉ともなり、博多部や天神などと、ともども都市全体の活性化にも大きく寄与すると思われます。

その実現には、まずは市民の盛り上がりと募金活動が始まることが第一歩です。下の橋市復活元年」として、当会も、多くの市民、関係者と真剣なご相談をしていきたいと思つてあります。

当会主催・共催の事業は、関係各位のご支援のもと、年々盛会になり、なかでも「どんたく福岡城舞台」「観月の宴」は本格的な市民参加ページェントに育ち、福岡が文化・伝統都市として再認識される引き金のひとつになっています。

昨年は福岡城築城四百年にもあたり、福岡城が多くの場で注目され、「シンボル天守閣を再現しよう」という機運が嘗てなく盛り上がりました。

福岡城は城郭の石垣遺構がほぼ完璧に残存し、現在はほとんどない城郭建築物が再現できれば、名城の風格を取り戻すことのできる、全国でも珍しい史跡です。また城郭を取り巻く広大な周辺部も緑に囲まれ、その一角、鴻臚館跡も発掘調査が進み、往時の姿が明らかになりました。

「平成天守閣」の実現は、「城のある都市」復活の象徴であり、若者にも歴史・文化を学ぶ場が提供でき、また海外にも誇れる観光の目玉ともなり、博多部や天神などと、ともども都市全体の活性化にも大きく寄与すると思われます。

その実現には、まずは市民の盛り上がりと募金活動が始まることが第一歩です。下の橋市復活元年」として、当会も、多くの市民、関係者と真剣なご相談をしていきたいと思つてあります。

新年明けましておめでとうございます。会員始め多くの方々から、当会の活動にご理解、ご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

当会主催・共催の事業は、関係各位のご支援のもと、年々盛会になり、なかでも「どんたく福岡城舞台」「観月の宴」は本格的な市民参加ページェントに育ち、福岡が文化・伝統都市として再認識される引き金のひとつになっています。

昨年は福岡城築城四百年にもあたり、福岡城が多くの場で注目され、「シンボル天守閣を再現しよう」という機運が嘗てなく盛り上がりました。

福岡城は城郭の石垣遺構がほぼ完璧に残存し、現在はほとんどない城郭建築物が再現できれば、名城の風格を取り戻すことのできる、全国でも珍しい史跡です。また城郭を取り巻く広大な周辺部も緑に囲まれ、その一角、鴻臚館跡も発掘調査が進み、往時の姿が明らかになりました。

「平成天守閣」の実現は、「城のある都市」復活の象徴であり、若者にも歴史・文化を学ぶ場が提供でき、また海外にも誇れる観光の目玉ともなり、博多部や天神などと、ともども都市全体の活性化にも大きく寄与すると思われます。

その実現には、まずは市民の盛り上がりと募金活動が始まることが第一歩です。下の橋市復活元年」として、当会も、多くの市民、関係者と真剣なご相談をしていきたいと思つてあります。



「城のある都市復活元年」

NPO法人鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会
理事長 石井 幸孝

福岡城・黒田五十二萬石の歴史と 黒田二十四騎展の開催に当つて

福岡城築城四百年を記念して平成十六年の如水公没四百年にスタートした一連の福岡城の価値感アピールの事業の集大成です。特に本年はアクションⅠとして様々な行事を多彩に繰り上げました。その一、通年三年間、福岡本城を中心には筑前に展開された筑前六端城と黒田家ゆかりの城のパネル展示や、福岡城の大さを比較した図面や模型の数々でわかりやすく展示、更に黒田藩を支えた黒田二十四騎の紹介、ゆかりの「兜」三十一個に加えて博多人形作家協会の方々による構想一ヶ年制作半年をかけての博多人形による黒田二十四騎像の制作展示等々多くの話題をつくりました。

おまけに、会場隣りのアクロス福岡二階のセミナー室では四つのテーマでの卓話会場にあふれる参加者や延べ千三百人余のお客様で主催者スタッフは大変でした。さらに本年最終行事として福岡文化連盟のシンポジウムなどは「輝け城のまちふくおか」をテーマに多くの新聞紙を賑わしてくれました。十一月二十七日の石井理事長の基調講演に、大きな拍手を送りたいと思います。

我々のいろいろな思いを一つにまとめさらに来春へ向かって進む道標として大きな啓示を与えてくれました。

博多人形作家協会の労作実る
博多人形沿革史 博多人形商工業共同組合

史上初めての「黒田二十四騎」を 博多人形で制作される!!

「黒田二十四騎」ということばを良く聞くが仲々その実態を識る機会がない。

また、その姿すら見る事が出来ないのが現状である。そこで、博多人形作家協会の方々とのご協力によって自主的に本年

度秋の福岡市民芸術祭参加、作品のテーマを黒田二十四騎に絞って頂き、今春より作品一点一点に研究を重ねさらに博多人形師と共に福岡市博物館西館長の特別のご協力を賜つて、二十四騎の本物のよろいカブト数点を見せて頂き、学芸員のご指導を頂いて作品に取りかかったのが博多祇園山笠が終わつての八月からである。博多人形作家協会会員の皆様や研究生の方が一致協力してこの十月二十二日

福岡に来られて以来、瓦粘土のひわり人形から人形の姿を現実的に工芸たらし、芸術瓦へと品格を高め福岡市の物産として価値を高めて来られた。

今回、この黒田二十四騎は黒田藩五十二万石を支えた人々です。この姿の絵姿は色々とある。一方単品として二十四騎ばかりではなく如水公、長政公等数多くの人形は散見する所ですが、一堂にまとめたものはありません。

この時に当たり、作家協会の皆様によつて作品化され永遠に、福岡市に保存される機会を奉仕された事に心より感謝している。

博多人形作家協会は、名人間国宝と位置づけられた小島与一翁の一門を中心には、伝統工芸の博多人形を継承して行く人形作家の皆様です。作家協会を設立した昭和四十年以来結成周年毎に福博の市民が築いて来た歴史的な暮らしを映した交流ギャラリーと隣のセミナー教室での卓話にあわせて人形展を開催したことは大きな花を咲かせ、内外共に話題を与え

平成十九年度事業追加計画及び
補正予算

「福岡城黒田五十二万石の歴史と観光展」「福岡城黒田五十二万石の歴史と黒田二十四騎展」

①会員の現況報告(九月末)

②財務中間報告(十一月末)

③平成十九年度事業実績(一月～十二月)

第二号議案

第三号議案

その他

①お豪端会(仮称)の開催
②次期に備えるためのアクションⅡ

当面の課題は「会員の拡大」である。会員一人が一人を勧誘することからはじめてはどうか等理事の方々から多数の宿題をいたしました。

臨時理事会報告

審議事項
第一号議案



平成19年度

事業報告一覧

- 4月 6日(金) 石井理事長講演 読売プラザ・観桜の宴 福岡城内
5月 3・4日(祭日) どんたく 舞鶴公園西広場
黒田藩古武道、福岡藩砲術陽流抱え大筒など
5月23日(水)
5月29日(火)
8月11日(土)
9月23・24日(祭日)
9月27日(木)
第五回理事会
第三回通常総会 読売プラザ
福岡城・シンポジウム 中央市民センター
福岡城・黒田52万石の歴史と観光展 読売プラザ
観月の宴
第一部 月を迎える 第二部 月の宴
福岡城・市民の会オリジナル「五供の儀」
11月20～22日(火・水・木) 福岡城・黒田52万石の歴史と黒田24騎展 アクロス福岡
20～21日 セミナー開催
黒田24騎を博多人形作家協会の人形師が再現した作品
黒田藩のカブトを精巧に再現した福田弘氏の作品31点
福岡城天守閣、鷹取城の復元模型等展示
12月21日(金) 臨時理事会 タカラホテル福岡

今後の予定

- 1月17日(木) お濠端会
福岡城跡お濠端近郊の会社・10社との交流
2月23日(土) 福岡城・シンポジウム

黒田藩六端城と熊本城探訪

(19年度は9回実施・参加人員各回40名)

第1回	3月24日(土)	佐賀城・鍋島家のお雛さまと長崎街道
第2回	4月21日(土)	黒田孝高・長政 親子の豊前時代
第3回	5月19日(土)	筑前六端城:若松城・黒崎城と 長崎街道筑前六宿「黒崎宿」を訪ねる
第4回	6月16日(土)	筑前六端城:鷹取城と 長崎街道筑前六宿「木屋瀬宿」を訪ねる
第5回	7月21日(土)	筑前六端城:益富城と 長崎街道筑前六宿「飯塚宿・内野宿」探訪
第6回	9月29日(土)	筑前六端城 松尾城～左右良城と三奈木・黒田家 探訪
第7回	10月20日(土)	西南の役・田原坂と築城400年熊本城
第8回	11月17日(土)	筑前六端城 秋月黒田藩と長崎街道山家宿探訪
第9回	12月 2日(日)	西南の役・田原坂と築城400年熊本城

福岡文化連盟祭り

11月27日(火) エルガーラホール

「ふくおか再発見・福岡城」のシンポジウムにおいて

石井理事長が基調講演・演題「今なぜ福岡城天守閣なのか?」

福岡城の天守閣は存在したと確信している。藩祖黒田如水と初代藩主黒田長政がつくった城下町は現在の福岡の基盤になった。天守閣は不幸にも徳川体制のもと解体されたが城下町の精神は今も生き続けている。アジアに開かれた福岡のシンボルとして福岡城の天守閣の存在を見直すべきである。

2008年を「城のある都市福岡の復元元年」として再建の募金活動の準備を進めていく。

NPO法人 福岡城市民の会(略称)発足4周年記念特別事業

旧黒田藩領をめぐる歴史探訪(講師同行)

『黒田藩六端城と長崎街道筑前六宿』

慶長五年(1600年)関ヶ原の戦いの後、大功をおさめた黒田長政が筑前の大守となって7年の歳月をかけ広大な城を築き、福岡城と名付けました。

以来ふるさと「福岡」が生まれ、400年後の現在「福岡県」「福岡市」として、九州の中心都市として発展を続けています。

また、黒田如水と長政は協議して、福岡本城に加え隣国との境に六つの強固な出城を設けました。

この実態をより多くの市民の方々に「郷土の誇り」として知っていただきたく、毎年ご好評の『黒田藩六端城と長崎街道筑前六宿』歴史探訪バスツアーを下記の通り実施いたします。

福岡城市民の会・会員の方は勿論のこと、友人知人の方々にもお誘いの上、お気軽にご参加いただきますようご案内申し上げます。

福岡城市民の会 事務局 岡部定一郎

第1回	平成20年3月15日(土)	友藩・佐賀城と長崎街道おひな祭り
第2回	// 4月19日(土)	黒田家、九州最初の拠点中津城
第3回	// 5月17日(土)	海の守り若松城と黒崎城
第4回	// 6月21日(土)	国境に築きし鷹取城と支藩直方藩
第5回	// 7月19日(土)	長崎街道・飯塚宿～内野宿と益富城
第6回	// 9月20日(土)	小石原城と左右良城と三奈木黒田家
第7回	// 10月18日(土)	支藩秋月藩と長崎街道・山家宿
旅行代金	各回とも¥8,000	
募集人数	各回45名(最少催行人員、各回25名)	
企画	NPO法人、福岡城市民の会(略称)同行解説:事務局長 岡部定一郎	
旅行実施	(株)西日本新聞旅行	

お問合せ・お申込み (株)西日本新聞旅行:福岡市中央区天神1-4-1 TEL 092-711-5518 FAX 092-711-1969

一般会員更新会員(団体)
一般会員更新会員(個人)
正会員(個人)
正会員(団体)
正会員(個人)
正会員(個人)

上工川唐勝鹿甲岡大江浦上上井石朝赤青
妻野藤崎川田毛斐本島本上原原野上田稻松木
守瑛賢賢善俊博夕弘史信貞昭 淳和敏公洋
人子二治紘雄通子誼郎行雄子晃寛一子隆昭子

湯山山山安村宮松松福馬中中鶴津高高坂
川田崎 松上崎本尾島頭村川 田橋瀬木本
美裕修桂淳寿千 正敏徹一義一慶貞正 泰
恵 子嗣二子祐浩秋学富子夫夫博馬一雄郎喬秀

岡石
部井
定幸
一郎孝
西杉

原本
正清
俊明

一般会員更新会員(個人)
正会員更新会員(個人)
更新会員名簿
(平成19年12月21日現在)

森花野田菅
田上中
日健正
出太和郎瞳勝

(株)藤本印刷九州支社
一般会員(団体)
毛熊川大上近
屋本添森野江
嘉輝千裕ト禮
恵ク
明子太工子

善權
生藤
嘉政
久光

新規会員名簿
(平成19年12月21日現在)